

第6章

貸借対照表

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 9 貸借対照表とは何か (p.52) | 12 負債 (p.70) |
| 10 資産①—流動資産と固定資産 (p.56) | 13 資産と負債の評価 (p.75) |
| 11 資産②—固定資産の3区分と繰延資産 (p.64) | 14 純資産 (p.81) |

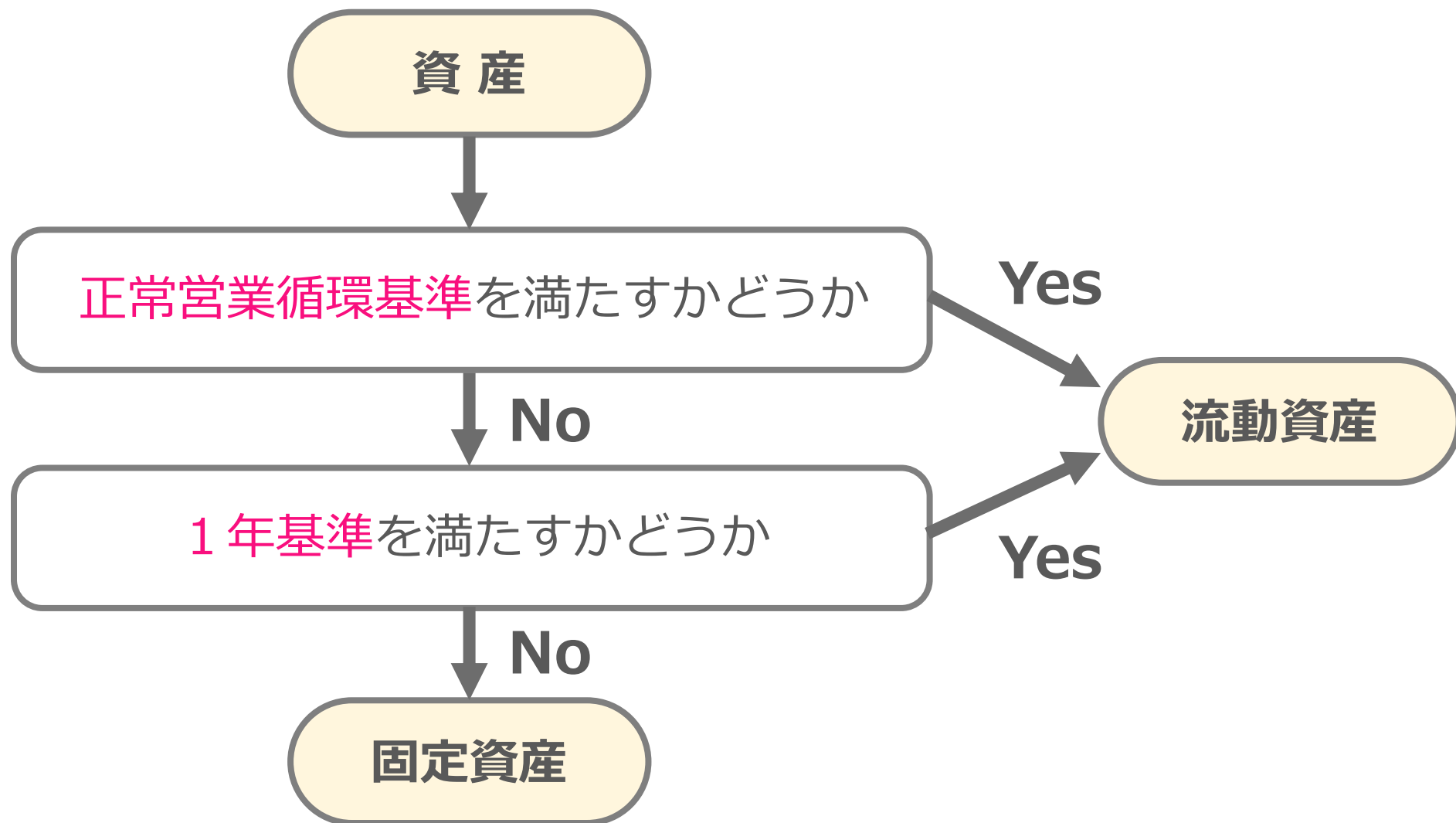
※ サンプル版は便宜上PDFデータとしておりますが、
完全版はPowerPoint (pptx) データでご提供します。

1 貸借対照表とは何か

貸借対照表は、ある企業のある一定時点における資産、負債、純資産（資本）で測定した、財政状態を明らかにする計算書

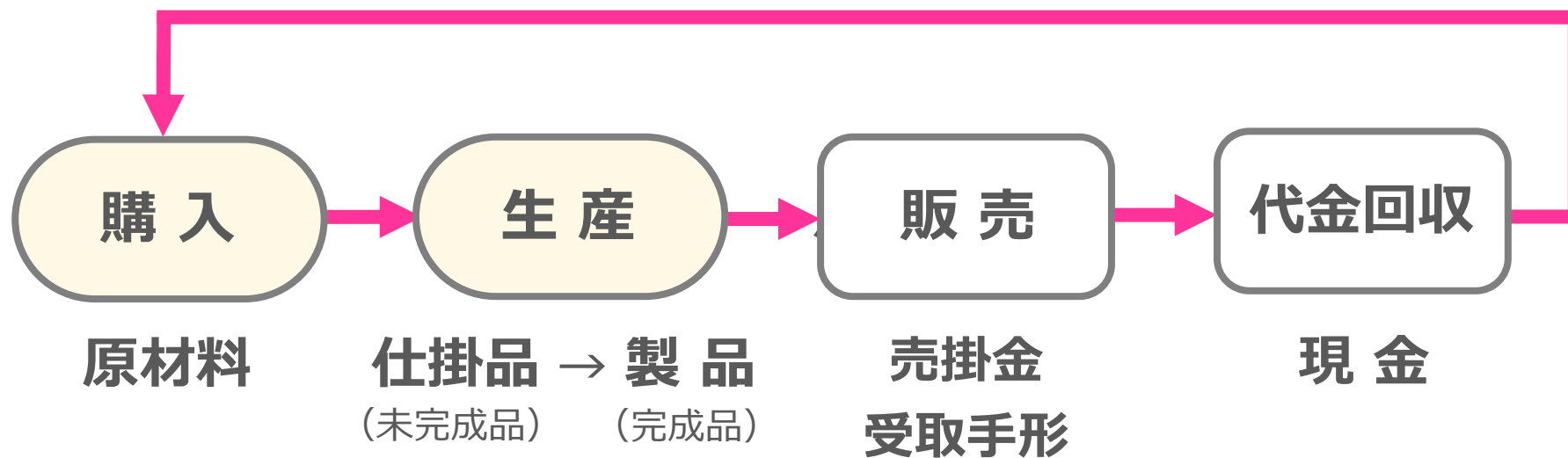
資産 Asset	過去の取引または事象の結果として、企業が支配している経済的資源 →企業が保有しているもの ex. 現金、土地、建物、取引先から代金を回収する権利
負債 Liability	過去の取引または事象の結果として、企業が支配している経済的資源を放棄もしくは引き渡す義務 →何かを引き渡さなくてはならない義務 ex. 借入金、取引先への支払義務
純資産（資本） Net Asset	資産と負債の差額 ex. 株主からの出資、過去から現在までに獲得した利益

1 資産の部における2区分



2 正常営業循環基準とは何か

- 製造業の正常営業循環基準



製造業では原材料を購入し、それ加工することで製品を生産します。
このとき、期末などに生産途中の未完成品は仕掛品とよびます。

3 無形固定資産

● のれん

A社は、150百万円を支払い、B社の株式100%のM&Aを行った。
B社の資産（時価）は200百万円、負債（時価）は100百万円、
純資産（時価）は100百万円であったとする。

B社の貸借対照表（単位：百万円）

資 産 200	負 債 100	のれん 50	} 150百万円 の支払い
	純資産 100		

1 負債の部における2区分

貸借対照表

資産	流動負債 Current Liabilities
	固定負債 Non-Current Liabilities
	純資産

正常営業循環基準

1年基準

2 正常営業循環基準とは何か



買掛金

商品や材料を仕入れるのと同時に支払いを行うのではなく、後日支払いを行うことを約束した場合に発生するツケ

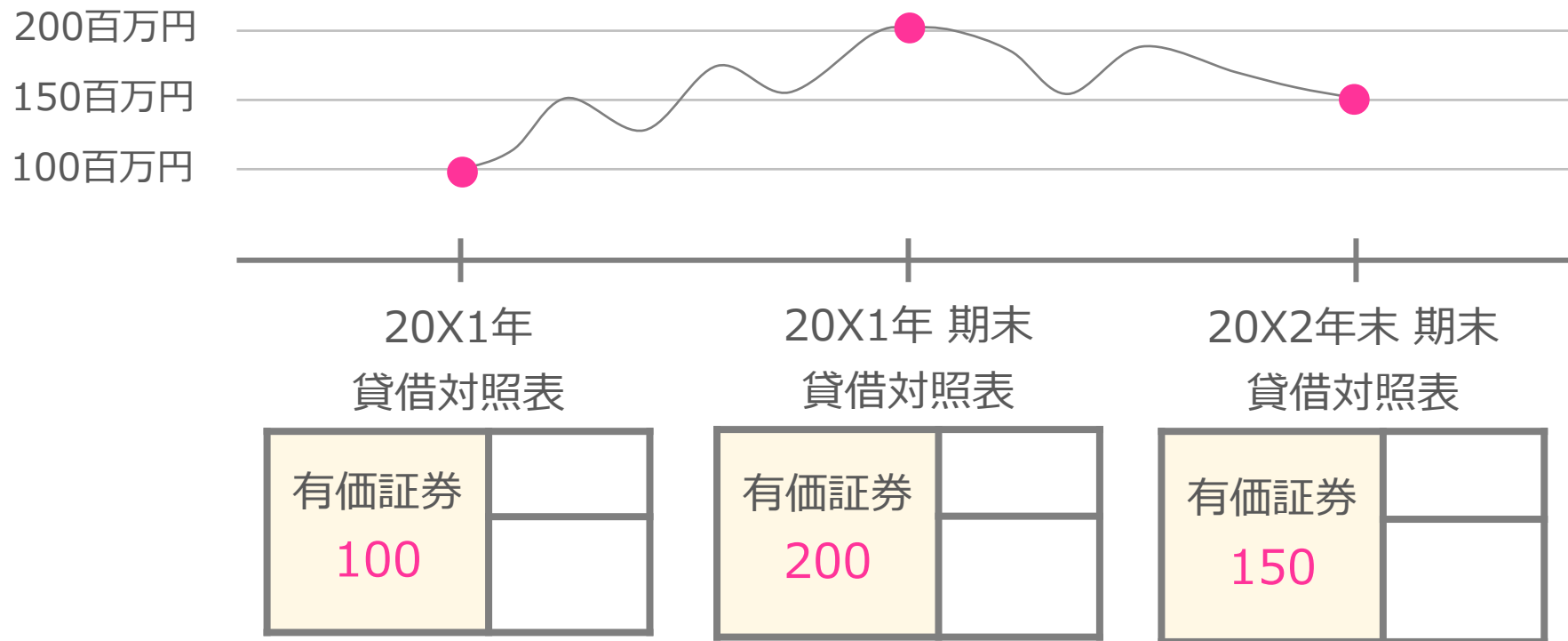
支払手形

商品や材料を仕入れるのと同時に支払いを行うのではなく、**手形を渡すことにより**、後日支払いを行うことを約束した場合に発生するツケ

1 資産の評価

- **時価** … その資産のある時点における公正な評価額

売買目的有価証券の価格



その時点の有価証券の価格を、貸借対照表上に時価として表示

2 取得原価

- 商品評価損 … 商品の正味売却価額が帳簿価額よりも低い場合に生じる差額

ex. 帳簿価額1,000,000円の商品について、
正味売却価額を確認したところ、800,000円であった。

帳簿棚卸
(帳簿上の金額を確認)

貸借対照表

商品	
1,000,000	

商品評価損
200,000円



実地棚卸
(実際の正味売却価額を確認)

貸借対照表

商品	
800,000	

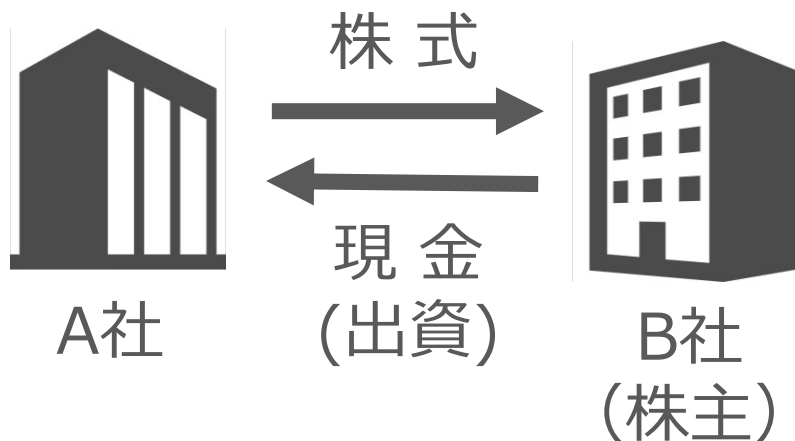
2 株主資本

- 資本金 … 株主から払い込まれた金額

A社が、株式を1,000円で1,000株発行し、
株主から現金1,000,000円の出資を受けた。

A社 貸借対照表

資産	負債
	株主資本 資本金 1,000,000
現金 1,000,000	評価・換算差額等
	新株予約権



本節のポイント

本節では、資産と負債の差額である純資産の部について学習しました。

- 純資産の部（個別貸借対照表）における3区分について、理解できましたか。
- 純資産の部（連結貸借対照表）における非支配株主持分という区分について、理解できましたか。
- 純資産の部に含まれる項目について、理解できましたか。